

平成22年度 事務事業評価

整理番号
34-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	10	01	01
細事業名		簡易水道事業会計繰出金				

担当部局	上下水道部
担当課等	水道整備課
担当課長の氏名	辻 修平
担当者の氏名	今田 昇一

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市 計画項目 (施策) ⑥ 上下水道の整備 施策方針 1 水道基本計画の策定
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 簡易水道事業会計繰出金を簡易水道会計へ繰入ることにより同会計の経営の安定化を図る。 事業の目的 (平成26年度までの、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 繰出金により簡易水道の経営の安定化を図り、もって簡易水道利用者に安全安心な水道水の供給体制を維持する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 一般会計から簡易水道事業特別会計へ繰り出しを行う。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 実質収支で黒字決算を可能にした。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	28	320,384	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		320,384
事業費合計		320,384	合計		320,384

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか 理由 繰出金により実質収支を黒字とし、経営の安定化に寄与している。
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか 理由 簡易水道会計でもコスト削減に取り組む中での繰出金であり、削減の余地はないと思われる。

ACTION	
改善	事業内容の方向性 A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 理由 事業の実施に伴う借入金の返済が増える一方、料金収入が減少傾向にあるため少なくとも繰出金の現状維持が必要
	事業規模の方向性 B 現状維持 C 事業縮小 理由 当面、上水道との統合が予定されている平成28年度までは繰出金による助成措置が必要。

平成22年度 事務事業評価

整理番号
34-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	簡易水道事業特別会計	02	02	01	01	
	細事業名	簡易水道改良事業				

担当部局	上下水道部
担当課等	水道整備課
担当課長の氏名	辻 修平
担当者の氏名	今田 昇一

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市 計画項目 (施策) ⑥ 上下水道の整備 施策方針 1 水道基本計画の策定
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 簡易水道を統合して老朽化した施設の整備を図り、もって安定給水と効率的な事業経営に資する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 水需要が増大する夏季の水量不足の解消を図る②施設の新設・更新等により安定した給水体制を確立する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 宇川簡易水道統合事業 配水管布設(上野・尾和・袖志・久僧・中浜)、加圧ポンプ室1基築造・配水池1基改良(中浜) 久美浜東部簡易水道統合事業 水源新設(女布・大井)、導水管布設(大井)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 宇川簡易水道統合事業は、新施設による水道水の供給体制が確立し、事業完了した。旧佐濃田村簡易水道は、水源枯渇により取水量不足に陥っていたが、同給水区域内で新水源が確保できた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	9	55	国庫支出金	施設整備費補助金	72,437
	11	798	府支出金		
	13	41,740	起債	簡易水道事業債	246,600
	14	238	分担金・負担金		
	15	285,037	その他		
	17	2,573			
	19	151			
	22	43	一般財源		11,598
事業費合計		330,635	合計		330,635

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか ○ 進捗している(できている) ○ ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 平成21年度で宇川簡易水道統合事業は事業完了。 ○ × 遅れている(できていない)
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか ○ 削減の余地がなかった ○ ▲ 少し削減の余地があった 理由 常に担当者が原材料の再利用、新技術の導入などのコスト削減意識をもって事業費の縮減に努めた。 ○ × 削減の余地があった

ACTION	
改善	事業内容の方向性 A A 現状維持 B 内容の見直し 理由 平成21年度で上下水道事業審議会及び議会で「水道事業基本計画」の見直しの承認を得た上での計画である。 C 統廃合・休止・終了
	事業規模の方向性 A A 事業拡大 B 現状維持 理由 平成22年度で久美浜北部・西部の変更認可申請を行う。認可後の平成23年度から事業着手の予定のため。 C 事業縮小

平成22年度 事務事業評価

整理番号
34-3

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	水道事業会計	01	01	03		
	細事業名	上水道統合整備事業				

担当部局	上下水道部
担当課等	水道整備課
担当課長の氏名	辻 修平
担当者の氏名	永美 崇志

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市 計画項目 (施策) ⑥ 上下水道の整備 施策方針 1 水道基本計画の策定
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 水不足が懸念される網野町及び大宮町への水融通を行うため、上水道を統合するための施設整備を行う。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 上水道統合事業を完成させ旧町を越えた水融通を行う。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 網野町への安定供給のための荒木野浄水場改良事業(浄水場改良)、森本工業団地への給水のための森本拡張事業(配水池築造)、善王寺浄水場と大野池浄水場を統合するための善王寺浄水場改良事業(用地取得)等を実施した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 荒木野浄水場改良工事の完成により網野町への安定供給が可能となった。 森本工業団地配水池の完成により工業団地内への給水が可能となった。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	2-3	3,934	国庫支出金		
	3-1	369,073	府支出金		
	3-2	7,854	起債	水道事業債	221,800
	3-3	565	分担金・負担金		
			その他	出資金	126,900
			一般財源		32,726
事業費合計		381,426	合計		381,426

CHECK								
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 26年度の完成に向けて事業を実施しているが、工事の繰越が目立つようになってきた。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	▲	○ 進捗している(できている)	理由 26年度の完成に向けて事業を実施しているが、工事の繰越が目立つようになってきた。		▲ 少し遅れている(少しできていない)		× 遅れている(できていない)
▲	○ 進捗している(できている)	理由 26年度の完成に向けて事業を実施しているが、工事の繰越が目立つようになってきた。						
	▲ 少し遅れている(少しできていない)							
	× 遅れている(できていない)							
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 費用負担については決して軽いものではないが、今後予測される大宮町及び網野町での水不足の解消のためには旧町の枠を超えた水融通が最適である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	○ 削減の余地がなかった	理由 費用負担については決して軽いものではないが、今後予測される大宮町及び網野町での水不足の解消のためには旧町の枠を超えた水融通が最適である。		▲ 少し削減の余地があった		× 削減の余地があった
○	○ 削減の余地がなかった	理由 費用負担については決して軽いものではないが、今後予測される大宮町及び網野町での水不足の解消のためには旧町の枠を超えた水融通が最適である。						
	▲ 少し削減の余地があった							
	× 削減の余地があった							

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A	A 現状維持	理由 水道水の安定供給のためには必要な事業である。
		B 内容の見直し	
		C 統廃合・休止・終了	
		事業規模の方向性	
		B	A 事業拡大
		B 現状維持	
		C 事業縮小	

平成22年度 事務事業評価

整理番号
34-4

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	水道事業会計	01	01	03		
	細事業名	老朽管布設替事業				

担当部局	上下水道部
担当課等	水道整備課
担当課長の氏名	辻 修平
担当者の氏名	永美 崇志

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市 計画項目 (施策) ⑥ 上下水道の整備 施策方針 1 水道基本計画の策定
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 水道管の破損、漏水事故を未然に防ぎ、耐震性に優れた管に更新する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 老朽管延長 24.0kmまで削減する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 下水道管渠布設工事にあわせて老朽管の布設替を実施した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 老朽管を30,228mから29,408mまで削減した。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入			
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)	
事業費合計	3-1	140,682	財源内訳	国庫支出金		
	3-2	35,376		府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他	補償金	153,713
				一般財源		22,345
				合計		176,058

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">事業費を削減するため、下水道の管渠布設工事にあわせて実施しているが、下水道の工事箇所が全て老朽管のある場所ではなかったため目標に向けて遅れが生じている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	事業費を削減するため、下水道の管渠布設工事にあわせて実施しているが、下水道の工事箇所が全て老朽管のある場所ではなかったため目標に向けて遅れが生じている。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			事業費を削減するため、下水道の管渠布設工事にあわせて実施しているが、下水道の工事箇所が全て老朽管のある場所ではなかったため目標に向けて遅れが生じている。	
	▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">下水道管渠布設工事に合わせて更新し、事業費の抑制を図っている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	下水道管渠布設工事に合わせて更新し、事業費の抑制を図っている。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由			下水道管渠布設工事に合わせて更新し、事業費の抑制を図っている。		
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	水道水の安定供給のためには必要な事業である。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	水道水の安定供給のためには必要な事業である。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
34-5

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	10	02	01
細事業名		上水道統合整備事業				

担当部局	上下水道部
担当課等	水道整備課
担当課長の氏名	辻 修平
担当者の氏名	永美 崇志

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市 計画項目 (施策) ⑥ 上下水道の整備 施策方針 1 水道基本計画の策定
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 水不足が懸念される網野町及び大宮町への水融通を行うため、上水道統合するための施設整備に対して、合併特例債を活用し、水道事業会計を支援する。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 上水道統合事業を完成させ旧町を越えた水融通を行う。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 荒木野浄水場改良事業及び中央監視システム整備事業に対し、155,300千円の出資を行い水道事業会計を支援した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 396,418千円の事業費のうち155,300千円の出資により財政負担が軽減された。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	24	155,300	国庫支出金		
			府支出金		
			起債	合併特例債	155,300
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		0
事業費合計		155,300	合計		155,300

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 若干遅れ気味ではあるが、上水道統合事業が着実に実施されている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 若干遅れ気味ではあるが、上水道統合事業が着実に実施されている。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 若干遅れ気味ではあるが、上水道統合事業が着実に実施されている。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)				
× 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 現在の財政状況を考えると、合併特例債の発行の抑制の余地も考えられるが、合併特例債による出資が削減されても、水道事業債により実施しなければならないため、合併特例債の後年度の財政措置を考えると最大限活用すべきである。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 現在の財政状況を考えると、合併特例債の発行の抑制の余地も考えられるが、合併特例債による出資が削減されても、水道事業債により実施しなければならないため、合併特例債の後年度の財政措置を考えると最大限活用すべきである。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 現在の財政状況を考えると、合併特例債の発行の抑制の余地も考えられるが、合併特例債による出資が削減されても、水道事業債により実施しなければならないため、合併特例債の後年度の財政措置を考えると最大限活用すべきである。			
▲ 少し削減の余地があった				
× 削減の余地があった				

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 水道水の安定供給のためには必要な事業である。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 水道水の安定供給のためには必要な事業である。
A 事業拡大		
C 事業縮小		